揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは

■地盤の状況と想定する地震の規模、さらに地震を引き起こす断層からの距離が近く、軟らかい地盤の地域では、揺れが大きくなります。
■想定地震は、熊谷市の被害が最も大きくなると想定される関東平野北西縁断層帯地震です。

その他の**地震時避難所・避難場所**(地)は、**洪水ハザードマップ拡大図(P9～26)**に掲載しています。

液状化危険度マップ

液状化危険度マップとは

■液状化危険度マップは、「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査」の地形・地下水位データ、想定される地表震度等を基に液状化の可能性を推定したものです。
■液状化危険度マップを見て、液状化の可能性が高い地域を把握しましょう。

液状化発生のしくみ

■液状化とは、地震の揺れにより砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになるため、周辺が地下水でみたされた地盤が一時的に液体のような状態となり、地表に泥水や砂が噴き出し、地盤の強度が弱まり、地盤の沈下が発生する仕組みです。

砂粒子同士が「骨格」を作り、自分の重さや上にのる構造物の重さを支えています。

地震によって砂粒子がばらばらにされ、地盤が泥水になり、構造物に沈下などの影響を与えることがあります。

液状化危険度

液状化の可能性

- 高　い
- やや高い
- やや低い
- 低　い
- 液状化しにくい

凡　例

- 第一避難所
- 鉄道(JR)
- 鉄道(私鉄)
- 国道
- 県道
- 行政界

N

0　1000　2000　3000　4000m

1：75,000

その他の**地震時避難所・避難場所(地)**は、**洪水ハザードマップ拡大図(P9～26)**に掲載しています。